



回 覧

種小だより

学校教育目標

- 学び合い 高め合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- みんなと協力し合う子ども
- たくましく 健康な子ども

今金町立種川小学校通信 令和3年6月25日発行 第3号

【重点教育目標】

主体的な学びをつなぎ、生きる力を身につけた子ども ～基礎的・基本的な資質・能力の確実な習得を通して～

成長を意識して、目標を持って過ごすこと

今金町立種川小学校長 黒川 貴 功

季節感のない話で申し訳ありませんが、私が若い頃、スノーボードに初めて挑戦した時、インストラクターに教わった言葉を時々思い出します。「自分が行きたい方向を見て、目を放さなければ自然とその方向に進んでいきます」と。初心者の練習方法だと思いますが、私は恐怖心のあまり、目標から視線を外してしまい、案の定、コントロールを失ってしまいました。

一般的に、学校では新年度や新学期が始まった時期に、「もくひょう」を立てます。「学習面」「生活面」に分けて書くことが多いでしょう。そして、月日は流れ、学期や年度の終わりにその目標について反省をします。そこで子どもたちがよく言う言葉は、「わたしの目標って何だったっけ？」です。私も担任をしていた頃に同じようなことがよくありました。お恥ずかしい話ですが。

さて、種川小学校では、学級活動の時間に「キャリア・パスポート」を使ったキャリア教育の充実を図っております。キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育（中央教育審議会答申 平成 23 年 1 月）」と定義されています。私は「自分の将来について考え、一人の人間として日々成長していく意識や態度を育成すること」と押さえています。

「キャリア・パスポート」とは、キャリア教育の過程を小学校、中学校、高等学校と長い期間、蓄積していくファイルです。その1ページ1ページに、子どもたちがその時目指していた目標、がんばりたい、できるようになりたいと願っていたこと、そしてそれがどのようにできたか、その過程でどう成長したかなどを書き込んでいきます。学年ごと、学期ごと、または大きな行事ごとなどにページが綴られていきます。そして、何年も前に遡って、自分の成長の過程を振り返ることができます。

子どもたちは何も意識しなくても、時間とともに体は大きくなり、知能は高くなっていきます。学校や家庭などでの学習で、知識も技能も身につけていきます。ただし、何となく成長するのではなく、「自分でどうなりたいか」「どんな自分になりたいか」をはっきりと意識すれば、自然とその方向に成長していくものです。そのスピードや実感の度合いに差はあるでしょうが、ただ、自分を常にスキルアップ、レベルアップさせたい意識や態度を身につけさせたいと思います。そして、それぞれの学校を卒業する頃、社会に出る頃、自分が理想とする自分自身になってほしいです。

キャリア・パスポートには担任や保護者が記入する枠もあります。ここが重要です。保護者の皆様は、お子さんがキャリア・パスポートを持ち帰ったら、ぜひ、お子さんの願いをていねいに受け止めて、最大限の応援メッセージとサポートの姿勢を伝えてください。

変化し続ける、予測困難な新しい時代を生き抜く子どもたちが、自分らしい「キャリア」を身につけることを願い、今後も本校ではキャリア教育を推進してまいります。ぜひご支援、ご協力ください。

自分をより強く成長させ、経験を積み、目標を達成する。ゲームの世界では当たり前の感覚です。ゲームの中の自分の分身を成長させることに多くの時間とエネルギーを使うのではなく、生身の自分自身をレベルアップさせることにシフトしてほしいですね。



第一回学校運営協議会



挨拶する黒須会長

6月3日(木)、第一回種川小学校学校運営協議会が行われました。新会長に黒須隆之様(連合自治会長)、副会長に小林貴様(P T A会長)が任命され、今年度の協議会の運営がスタートしました。学校運営協議会のねらいである「学校・地域・家庭・行政の連携による学校運営への支援や協力の推進」の実現のために、学校と保護者及び地域住民等との信頼関係を深めて参りたいと思います。

新体力テスト～健やかな体を育むために～

子どもたちの健やかな体の育成や、基礎的基本的な技能や体力の向上を目指し、今年度も新体力テストを全校児童で実施しました。昨年度の自分の記録を上回るように、児童一人一人が目標を持って取り組みました。結果を集計して今後の授業改善や教育課程の見直しに生かして参ります。



シャトルランを頑張る3年生

P T A 自治会 環境整備

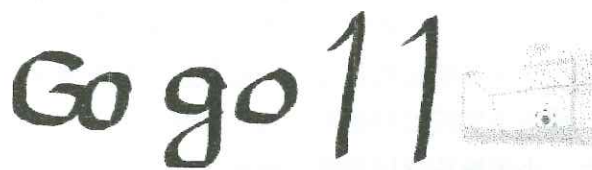
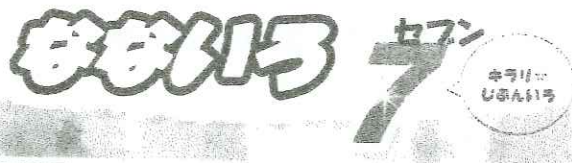
6月6日(日)、P T A自治会合同環境整備がありました。自治会長・P T A会長・校長挨拶の後、自治会副会長の渡辺さんから、作業の段取りの説明があり早速作業にとりかかりました。男性は、校舎まわりやグラウンドの草刈りやサッカーゴール移動、女性はプランターや改善センター中庭への花植を中心に行いました。保護者と一緒に子ども達も参加し、P T Aと自治会と子どもとの世代間交流の場となり、「種川らしさ」を感じるひと時となりました。農作業でお忙しい時期にも関わらず、多数の方にご参加いただきありがとうございました。皆様のご協力ですぐ終わることができました。ありがとうございました。



作業終了後、改善センターにて集合写真

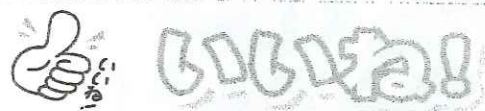
種小の学級紹介！！

種川小学校の4つの学級を学級通信のタイトルとともに紹介いたします。学級通信のタイトルには、担任の願いが込められています。



← 1・2年生（7名）と担任の金子由恵先生。

3・4年生（11名）と担任の大村壮太先生と久慈由美支援員。→



← つくし学級のけいたくんと担任杉村友美先生と久慈由美支援員。

5・6年生（10名）と担任の遠藤公彦先生。→



人権の花を植えました



6月3日（木）、人権の花植がありました。1・2年生の花植の時には、種川へき地保育所園児も参加しました。

前日に、今金町役場の町づくり推進課から運ばれた360株の花々を、プランターや国道沿いのフェンス脇や自転車置き場の隙間に植えました。

この活動は、「児童が協力し合って花の苗を植え育てることを通じて、協力し、感謝することの大切さを学ぶ。」「生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、情操をより豊かなものにしようとする。」というねらいがあります。

本来であれば、人権擁護委員の方々をお招きして、人権についてお話していただいたり、一緒に花を植えたりする活動を行ったりする予定でしたが、コロナ禍により残念ながら来校を控えていただくこととなりました。今後、水やりや雑草取りも協力して行き、きれいな花を咲かせてほしいと思います。



ふるさと先生～伊藤正行先生～

3年生以上の総合的な学習の時間に、ふるさと先生の伊藤正行先生を講師としてお招きし、畑の学習を行いました。植える時のポイントを教わったあと、スコップで穴を掘り、たい肥を入れてカボチャと夕顔の苗を植えました。たい肥は、保護者の村上さんのご厚意により、毎年畑やハウス栽培に使わせていただいております。

種川小学校の特色ある教育活動は、このように地域の方のご協力により成り立っています。また、小規模特認校制度の運営に関しても、多大なご協力をいただいております。

今後も、学校と地域と保護者との相互連携を大切にし、子どもたちに身に付けたい力を軸として、教育活動の充実を図って参ります。



伊藤先生と集合写真



苗の植え方を教わりました

7月行事予定



1	木	安全点検日	14	水	今金町教育研究集会
5	月	児童会	15	木	水生生物調査(3・4年)
7	水	ブックン ふれあい相談 職員会議	16	金	水生生物調査予備日
9	金	運動会前日準備(15:00)	17	土	PTAキャンプ 北海道みんなの日
10	土	自治会・保育所合同運動会	19	月	プール開き
11	日	運動会順延日	21	水	第一学期終業式
12	月	振替休日	22	木	海の日 夏季休業(～8月16日)

○6月20日に予定していた運動会が7月10日に延期となりました。今年度はコロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して午前日程で行い、自治会の種目は控えていただくことになりました。

○7月14日(水)は、本校を会場に「今金町教育研究集会」が行われます。今金町の教育研究活動の充実と交流を図ることを目的としております。3・4年と5・6年の算数の授業を公開します。本校の子どもたちの学びの姿を通して、他校の先生方からのアドバイスをいただき、今後の研究へ役立てて参ります。